

## JS 国際戦略室の決意表明

国際戦略室

### 1. はじめに

平成 23 年 4 月、JS の国際展開の役割を担うため「国際室」が発足しました。その後、平成 27 年 4 月に「国際戦略室」に改称し、早いもので 8 年が経過しました。今年度初めのメルマガでは、国際戦略室の決意表明をしたいと思います。

JS は、地方自治体の下水道施設の計画、設計、建設工事を受託し、技術開発を行い、研修を実施する、ということをして 45 年以上にわたり実施してきました。また、130 名以上の職員を JICA の専門家等として途上国に派遣するなど、国際協力活動も行ってきました。これらの「技術的財産」「人的財産」を活かし、国が進める「国際水ビジネス」の展開を支援しよう、というのが JS に国際を所掌する部署が発足した理由です。そして、国際室が発足して 8 年の間に、日本の海外水ビジネスを取り巻く環境は大きく変わってきました。

### 2. 海外インフラ展開法

日本政府は、我が国企業が 2020 年に約 30 兆円のインフラシステムを受注することを目指しています（「未来投資戦略 2017」）。この目標の達成に向けた方針である「インフラシステム輸出戦略」では、国交省が取り組むべき事項として、鉄道、空港、港湾、住宅・都市、下水道等の分野で案件形成から完工後の運営・維持管理までを公的機関・企業が協力してインフラシステム輸出を推進する体制を構築できるようにするとされています。

このような流れの中、「海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律」（海外インフラ展開法）が昨年 8 月 31 日に施行されました。この法律は、今まで日本下水道事業団法に国際業務の明記がなかった JS の国際業務の幅を大きく広げるものです。

海外インフラ展開方には、JS の行う「海外技術的援助業務」として、「日本下水道事業団は、この法律の目的を達成するため、基本方針に従って、下水道の整備に関する計画の策定若しくは事業の施行又は下水道の維持管理であって海外において行われるものに関する技術的援助の業務を行うこと」と規定されています。

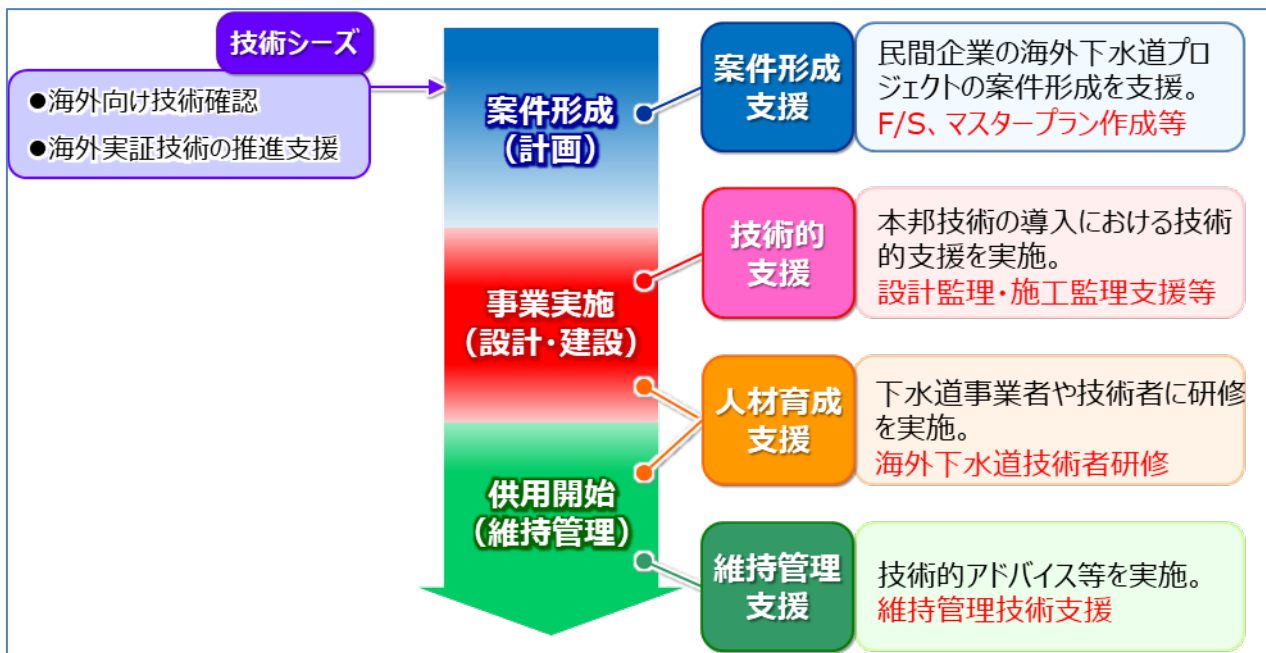
### 3. 今後 JS に求められる役割

JS はこれまで、専門家派遣、研修などを行うとともに、我が国技術の海外展開を促進するために国際標準化や海外向け技術確認などを実施してきました。今後は、海外インフラ展開法に基づいて、海外下水道の案件形成（計画）段階での支援とともに、川上から川下までのどのフェーズにおいても本邦企業の支援を行うことが求められるものと考えています。これまでの取り組みに加えて、下水道マスタープラン作成、F/S 調査、設計監理、入札、施工監理、処理場運転管理の各段階での支援を行うことが想定されます。本邦企業・技術が参入しやすくなるようなスペックインを図るとともに、プロジェクト自体の信頼性を高

めるようなチェック機能を果たすことがJSに求められる役割であると考えられます。

具体的には、海外下水道プロジェクトの川上の段階では、JSの持つ基準類や基準作成のノウハウを駆使して、川中や川下で日本の民間企業の技術がスペックインできるような、マスタープランの作成支援や設計支援をしていきたいと考えています。

また、下水道事業の設計監理においては、国内で実施してきた設計監理のノウハウを活用し、設計時点でのミス等をなくしていくことで「質の高いインフラ」の一端を実現できると考えております。これは、同時に設計業務を実施する企業にとっては、民間企業に残る瑕疵担保責任を軽減することにもなります。



川上から川下の各フェーズでのJSの支援

海外インフラ展開法の施行後には、JICAからの委託を受け「2018年度下水道セクターにおけるフィージビリティスタディ成果物に対するプルーフエンジニアリング」を実施しました。この業務は、インド・ベンガールの下水道プロジェクトのF/Sの照査するもので、F/Sの次段階の設計業務の質を高めることが目的です。

さらに、公的団体であるJSは、海外の中央政府及び地方政府などとの関係構築についてもお力添えができると考えています。

#### 4. さいごに

海外インフラ展開法が施行された平成30年8月31日以降、国や地方公共団体、民間企業と連携した下水道技術に関する国際貢献、国際水ビジネス展開を進めるメニューが広がりました。今年度も地方公共団体等の実施する国際貢献を進めるとともに民間企業の海外水ビジネスへの参入を後押しする業務を積極的に進めていきたいと考えております。

また、JS 国際戦略室の体制や JS が国際業務を支援する体制も拡充いたしました。

令和の新時代を迎えるにあたり、国際貢献・国際水ビジネス展開といった JS の国際業務も新たな気持ちで初心を忘れずに全力で遂行していく所存です。今後とも JS を国際貢献・海外展開において、効果的に活用していただければ幸甚です。

JS の国際業務について、ご意見やご要望等ございましたら、お気軽にお声がけいただけたら幸いです。

今年度も引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

英語 HP <https://www.jswa.go.jp/e/eindex.html>

※JS の国際業務に関するお問合せは、日本下水道事業団 国際戦略室（電話 03-6361-7814、メール [js-international@jswa.go.jp](mailto:js-international@jswa.go.jp)）まで。